



2019年12月5日

豊橋技術科学大学の ASEAN・アフリカ出身博士後期課程留学生在豊橋東高校で持続可能な開発目標（SDGs）をテーマにした特別授業を実施します。

豊橋技術科学大学では、国連アカデミックインパクトの一員として、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて大学全体で取り組んでおります。ASEAN・アフリカ地域において質の高い教育（SDGs 目標 4）は喫緊の課題です。本学では、ASEAN・アフリカ地域の高等教育を実質的に支援するため、学位未取得の現地教員を博士後期課程留学生として受け入れ、教員養成のための特別な教育プログラム「ASEAN・アフリカを中核とした工学教育のグローバル循環プログラム（文部科学省 2017 年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」採択プログラム）」を実施しています。

本特別授業は、プログラム科目である教育実習（担当教員：池松 峰男教授）の一環で行うもので、ASEAN・アフリカ出身の留学生在豊橋東高校に訪問し、自国の持続可能な開発目標（SDGs）をテーマにした課題解決型アクティブラーニング形式での特別授業（12月5日～13日）を実施します。

#### 【特別授業の概要】

授業の初日には、ASEAN・アフリカの留学生から主に自国の持続可能な開発目標（SDGs）に関係する開発課題が共有されます。高校生は各国の開発課題ごとのグループに分かれ課題についての理解を深め、解決策について議論します。授業の最終日には、高校生が各グループで考えた解決策を英語で発表します。今年度は、プログラムの第1期生（2018年10月入学）であるルワンダ、タンザニア、インドネシア出身の8名の留学生在が参加します。水不足や防災といった SDGs に関するトピックは国や文化が違っていても共有可能な人類共通の課題です。本特別授業は高校生にとって、実践的な英語でのコミュニケーション力を養うと同時に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ機会となります。一方、教育実習生となる留学生は日本の教育システムについて理解を深めるとともに異なる文化的背景を持つ学生に対する講義法について学びます。

リンク：

豊橋技術科学大学における SDGs の取組：<https://www.tut.ac.jp/about/sdgs.html#anc04>

教育実習（学内）の状況：<https://www.tut.ac.jp/news/190705-11988.html>

プログラム概要ページ：

<http://ignite.tut.ac.jp/cir/english/foreigner/english/rotation.html>

豊橋東高校のプログラム紹介ページ：

<https://toyohashihighashi-h.aichi-c.ed.jp/kokusairikai.html>

本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 前田・古橋・高柳 TEL:0532-44-6506